ゆかい通信

第三号 2025年11月

グループ内総勢32名が在籍―通所リハ施設にも配置
友志会グループの言語聴覚士

言語聴覚士とは

失語症、構音障害、高次脳機能障害、摂食嚥下機能障害のある方に、食事やコミュニケーションの支援を行っています。

個別リハビリでは、お一人おひとりに合わせて、声を出す、口や舌を動かす、言葉を思い出す、話を聞いて理解する、文字を読む、書く練習に加え、注意力・記憶力・考える力を高めるリハビリを行っています。

構音と失語の方を対象とした集団リハビリでは、社会参加の機会を増やすこと目的に、お題に合った会話やしりとり、口腔・発声体操などを実施しており、参加されているご利用者からは「リハビリ以外でも話す機会が増えた」といった声も聞こえています。

安全な食事を支える

安全に口からの食事を継続できるよう、認知能力を考慮した飲み込みの能力について評価し、最適な食事形態を提案しています。

「食事時間がかかるようになった」「水分でむせやすくなった」といったご家族からの情報提供や、「薬でむせてしまう」「喉がゴロゴロしている」など、訪問看護やケアマネジャーからの相談もいただきます。このような情報から嚥下能力の変化を早期に見つけ、誤嚥性肺炎の予防や再発防止に取り組んでいます。

ご家族と共に歩む支援

ご利用者ご本人はもちろん、ご家族とのつながりも大切にしています。中にはお手紙やノートを使って日々の様子のやりとりをしているご家族もおり、写真を添えて外出時の様子を教えてくださったり、「以前は話好きで…」などとご家族のエピソードや思いを綴ってくださったりと、ご利用者の生活背景やご家族の思いを知ることができ、リハビリ内容の工夫にもつながっています。

メダカ・ツバメ・ヒバリ・アクアで健康教室を開催中

医療法人社団友志会は、令和7年10月1日より**「社会医療法人友志会」**へと移行いたしました。

言葉でつながる地域の輪

地域への取り組みとして、失語症者とそのご家族が交流する「失語症会話サロン」を、小山市のヒバリゆかいで定期的に開催しています。同じ経験を持つご家族同士で相談や悩みを共有できる「家族会」も開催しています。ご興味のある方は是非お気軽にご参加ください！

今後も、ご利用者とご家族の笑顔を支え「その人らしさ」を大切にした取り組みを続けてまいります。

【失語症会話サロン】次回来年1月18日（日）
お申込み：各デイケアのSTまたは、
ヒバリゆかいのST（0285-37-6213）まで
12月31日締切

談
平野 絵美 リハビリテーション翼の舎病院 主任
小野崎 夏海 メダカゆかい
若旅 美咲 ツバメゆかい

車イスのまま使用可能！
BE-Wellクロスステップ

通所リハビリテーションでの更なる運動量の増加を目的に、当法人の全デイケア施設に「BE-Wellクロスステップ」を導入しました！

このマシンは、腕と脚で同時にペダルを漕ぐことで、全身を使った有酸素運動が可能です。また、車椅子のまま使用できるほか、負荷の調整ができるため、体力や筋力に合わせて無理なく取り組める点も特徴です。リハビリスタッフによる個別リハビリに加えて、新たな運動療法の選択肢として自主練習の時間にご利用いただけます。

これからも、ご利用者の皆さまにより楽しく、安心してリハビリに取り組んでいただけるよう、積極的な最新機器の導入やサービス向上に努めてまいります。

友志会グループの
デイケア施設

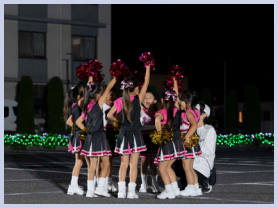
9～10月にかけて、友志会グループ各施設で秋祭りが行われました。職員によるよさこいソーランや、和太鼓、学生のパフォーマンスのほか、夜空を彩る花火やスカイランタンなど、施設ごとに工夫を凝らしたプログラムをご用意し、ご利用者を中心に、ご家族や地域の皆様とともに賑やかなひとときとなりました。

ご利用者からは「こんな大きな花火を見られるとは」「この施設に来て本当に良かった」といった感想が寄せられました。

今後も、季節行事や地域と関わる取り組みを大切にしながら、皆さまに楽しんでいただける機会づくりに力を入れてまいります。

夢彩の舎

ぶどうの舎

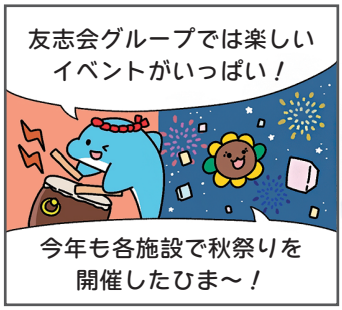


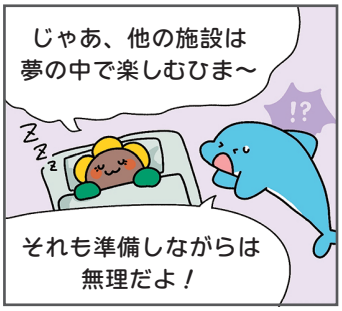
空の舎

ひまわり荘

けやきの舎

ゆかい日記





イルカゆかい・ひまわり荘マスコットキャラクター「まりん」「ひまりん」